

**2013年10月11日・みやざき若者サポートステーション**

# **「人生のターニングポイント」**

**写真家：小林 順一**

**NPO法人 宮崎もやいの会 代表理事**

**障がい者写真集団・えん 主宰**

# 目次

- 1、都会への憧れ！**
- 2、動機が不順な写真選択！**
- 3、表現としての写真！**
- 4、人生のターニングポイント！**
- 5、写真のパラダイムチェンジ！**

# 都会への憧れ！

## ・陸の孤島である宮崎で思春期を過ごす

色々なものに興味を持つが、満足させる物や情報がない地域であることへの不満、特に知的好奇心は強かったので、新しい動きを知りたかった

## ・高校卒業後、東京に行く

何をやるかも決めていないなかでの旅立ち、ただ、自分で何かを表現したいという気持ちがあり、演劇に興味を持って関わる

# 動機が不順な写真選択！

- ・ **演劇に関わって自分を知る**

集団で作品を作ることを知ったことで、演劇の基礎がないことのハンデと他者と協調していくことが上手くできない自分を知る  
自分が世の中の中心であるという自己顕示欲が強い

- ・ **個人でやれる表現として写真を選択する**

素晴らしい写真に出合って写真を目指すという事でもなく、学校での作文や詩や絵は上手いほうでなかったのもので、消去法でいくと何も残らない中で、写真はカメラという機械が写してくれるから基礎がなくてもできるのではないか、という安易な理由

# 表現としての写真！

## ・ 写さない写真家

カメラを買うが、自己及び主体(アイデンティティ)が明確でなければ写すことができないということで、自分探しという果てない旅にでる

## ・ 1972年宮崎に帰京、撮りながら自分探し！

友達から、なんかなし撮ることを進められる  
バイトして資金をためて自分の撮りたい写真を撮る

## ・ 写真を生活の糧にしてライフワークを達成

1973年オイルショックがあり経済的な不安から75年～77年・3年間営業的な写真の習得に写真館に勤める

- 1974:「百姓」「陶芸家」
- 1980:「都市・彫像の風景(1)」
- 1981:「樹」
- 1982:「海・鉄」「沈黙と」
- 1983:「まどろむ」「都市・彫像の風景(2)」
- 1984:「授業」
- 1984:「風の歌」「テレビ考」
- 1986:「スペース・ノイズ」「裸体のパフォーマンス1・2」
- 1990:「Landscape Part.1」
- 1991:「FACE」
- 1992:「Landscape Part.2」
- 1992:「白昼のカーニバル」
- 1992:「Landscape Part.3」
- 1998:短歌と写真のコラボWeb上に掲載「Session」
- 1999:「Bench」

# 人生のターニングポイント！

## エポック(新世紀)は、突然現れる

- **1997年・友人の死**

48歳の突然の急死に驚き、人生のはかなさを知る  
彼との縁でインターネットを知り、写真のHPを制作しアップする

- **1999年・母親が初期の認知症になる**

母親を介護しなければならないので、写真どころではない生活になり、自宅でできる仕事としてネットを活かしたネットショップ「陽転市場」を2000年に開設

- **2001年・長男が精神疾患に罹患**

息子の罹患によって自分自身を振り返ることになる

# 写真のパラダイムチェンジ！

- **2006年にNPO法人宮崎もやいの会を設立**
- **パラダイムチェンジとしての写真**  
自分だけの表現手段としての写真を今まで続けてきたが、精神疾患を持った方の日中活動に写真での支援を実施することで、その人が持っている感性を発揮したり、モチベーションを高める機会に写真が貢献できることを改めて知る
- **2008年から写真ワークショップを実施**
- **2009年・フローランテみやざきでのTシャツ展**  
市内3ヵ所の写真ワークショップ参加者の写真をTシャツで展示
- **2013年・写真展「I Love みやざき」を開催**  
県内7か所の写真ワークショップ参加者の写真を展示

# 私のライフ・コンセプト！

- **既成にとらわれない**
- **徹底的にやる**
- **クールなヘッドとホットなハート**

**ご清聴有難うございました**

**宮崎もやいの会** <http://www1.bbiq.jp/m-moyai/index.html>  
**障がい者写真集団えん** <http://photoen.miyachan.cc/>